

緊急時に備えて「避難所設置訓練」を行いました。

— 庄原自治振興区 —

～新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて～

本区では、自主防災本部の活動として、昨年度に引き続き「避難所設置訓練」を 6 月 26 日 (金)9 時～11 時 30 分迄、庄原市民会館・自治振興センターに於いて、本区 25 名・市担当者 13 名・保健師 3 名・本町支部女性会 1 名など、総勢約 50 名参加のもと行いました。

今回は、これまでと違い、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた「避難所設置」について、国・県・市の方針に基づいて取り組みました。訓練は、第 1 に感染拡大防止に配慮した居住スペース確保・間仕切り設置訓練、第 2 に事前受付(検温・チェックシート記入など)の対応訓練を柱としました。まず、集会室に集合し、感染拡大防止を踏まえた居住スペースとして、3.65 m² (1 人約畳 2 畳分)を確保する区画・通路(1～2m)を床に養生テープで設置、合わせて段ボール間仕切り・段ボールベッド等の設置を行い、集会室は 20 区画(20 人程度)が可能だと判りました。

又、熱・咳などの体調不良者専用スペースを、市保健師の指導により設置した結果、通常の半分以下の人数分しか設置出来ない事を確認しました。

設置訓練の後、玄関ロビーにおいて、仮想避難者による事前受付(検温・チェックシート記入)→受付→居住スペースへの誘導訓練を行い、避難誘導の流れを確認して今回の訓練を終了しました。

終わりに、土居副区長の講評で「今回の訓練で実施したコロナ対策の概要を理解し、避難所開設時には適切な対応をお願いしたい」とのまとめを行い、清水保健医療課係長(保健師)からは「感染者を含めた体調不良者の受付・誘導・避難生活の配慮すべき点」について指導を受けました。今回の訓練で、避難所の居住スペースや間仕切り設置、体調不良者への対応の困難さを再確認し、今後の自主防災本部活動に生かして行く事と致しました。



居住スペース確認



ダンボール間仕切り設置



体温チェック・受付

令和 2 年度 敬老祝賀会中止のお知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典及び演芸会を中止といたします。
尚、敬老者の皆様には、各地区民生委員・自治会長を通じて記念品を贈呈いたします。

6 月役員会報告

(6 月 23 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 第 1 開設避難所の管理及び運営に関する協定書・・・覚書を交わして協定を締結する
- (2) 高齢者の安心サポートの推進・・・各自治会別福祉団体連携会議の推進を計る
- (3) 先進地視察研修について・・・研修先：愛媛県内子町『地域活性化の取り組みについて』
- (4) 自治会活動報告・・・宮の下 石田自治会長、次回は 7 月、石丸自治会



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.3



シリーズふるさと歴史文化散策

原始1～3の3

《四隅突出型墳丘墓》

弥生時代は、金属の使用と稲作が社会の構造を大きく変えます。

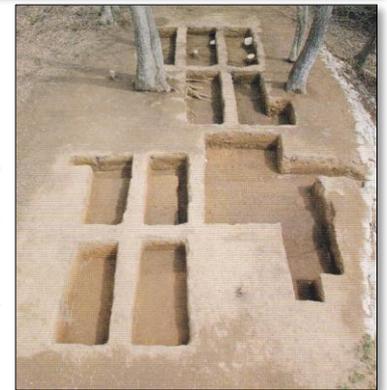
イネは、まいた種の数十倍も取り入れができ、単位面積当たりの生産量が大きく、小地域に農民が密集することにより、支配者も農民から税を容易に取り上げることが出来ます。

このような状況から、生活に余分な生産物を蓄えるようになって、貧富の別が生じ、こうしてできた血縁社会（家族社会）は、地縁社会（ムラ）へ

と変わっていき、特別の身分と地位を持つ者(王)が現れてきたと考えられます。こうした時期に(弥生時代中期～後期)、突如として広島県北部に現れた独自の墓制に「四隅突出型墳丘墓」と呼ばれる墳墓があります。庄原では宮内町・高町の佐田峠・佐田谷墳墓群と呼ばれるもので、庄原市教育委員会と広島大学の調査で、「この時代に古代の王が出現した」こと、出土した「注口付脚台付鉢型土器」から、新たな「葬送という重大な儀礼」のはじまりが、庄原の墳墓から証明できたといえます。県北における墳丘墓からのこの土器の出土は、佐多峠・佐田谷墳墓群の例のみで、三次地方の遺跡からは出ていません。



庄原市宮内町 四隅突出型墳丘墓 佐田谷3号墳墓



佐田谷 3号墳墓 拡大図

四角突出型墳丘墓とは、弥生時代中・後期から古墳時代にかけて築かれた、四隅に角状の突起がある墳墓をいい、「古墳」と区別する意味で古墳以前の墓「墳丘墓」と呼ばれ、古墳とは言いません。

広島大学野島教授の学説では、弥生時代の終わりころ、近畿（京都周辺）地方の中心地で、四隅突出型墳丘墓の突出部が4隅から2隅になり、やがて奈良県で一つになったとされています。

また、この墳丘墓の起源がなぜ県北地方なのかという点については、海流の関係でその頃における中国大陸からの交易拠点は、日本海側が出雲地方・瀬戸内海側が吉備地方となり、両地方交易範囲の中間地帯という地域性から、庄原～三次地方が一大物流センターに発達し、ここに富が集まることで、自分の墓（弥生王墓）を作るため、農作業の手を止めてまで人・技術が集められるほどの権力を持つ人物が出現したものと推測されます。この墳形は、遠くは福井・石川・富山県にも見られ、このことから庄原～三次地方の文化が出雲地方周辺に広がり、日本海に沿って北陸地方までその範囲を広げていったことが判ります。



注口付脚台付鉢型土器

予告編！ 次回は《古代1～3の続編》弥生時代に出現した「庄原盆地の巨大前方後円墳」について紹介します。

《文・構成 庄原自治振興区歴史文化継承委員会》

詳細は、庄原自治振興区発行の「庄原の歴史文化を未来に繋ぐ」資料集をご覧ください。

（資料集のお問い合わせは、庄原自治振興センター 電話 0824-72-3777 まで）

本区内の子どもたちに消毒液を寄贈しました！

庄原自治振興区 庄原地区公衆衛生推進会

新型コロナウイルスの感染拡大により、休校が続いていましたが、6月から市内一斉に再開されて、朝夕の登下校時に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。

本会では、子どもたちの感染防止の一助として、地区内の小・中学校などに消毒液を配布することとし、庄原地区公衆衛生推進会では、庄原小・中学校・永末小学校へ、庄原自治振興区では、庄原保育所・永末保育所・庄原幼稚園に消毒液とボトルをセットでお届けしました。



洋裁教室

庄原自治振興区 専門部会の紹介 ⑱

初心者からベテランの方まで、普段着からスーツ・コートまで、また着物のリメイク等、おしゃべりで交流しながら洋服づくりを楽しんでいます。皆さん、是非一緒にいかがですか？

活動日：4クラスに分かれて、行っています

- ① 第1・3木曜日 午前
- ② 第2・4木曜日 午前
- ③ 毎週金曜日 午前
- ④ 第1・3金曜日 午後



※お問い合わせは、庄原自治振興センター ☎ 72-3777



老人クラブ 紅屋結いの会

4月4日(土) 老人クラブ紅屋結いの会定期総会で、環境美化活動・世代間交流活動・健康生きがい活動・友愛活動などが承認されました。続いて、「ネパール在住チベット難民について」定光大燈氏からお話が有りました。その骨子は ①チベットの国土 ②チベット民族 ③チベットの歴史 ④チベット文化 ⑤中国によるチベットへの侵略と併合など、普段あまり接することが少ないお話でした。



紅屋結いの会

庄原自治振興区に、綿菓子機を導入しました！

昨年の本区行事で初めて実施した“綿菓子”の提供が大好評だった事により、活動活性化のため、本区自治会に貸出利用が行えるよう、綿菓子機を購入しました。

《 使用上の注意 》

- ◆貸出料金は無料、材料代は各自治会で負担して頂きます。
 - ◆消耗品は三次市島敷町、「モダンパック三次店」で購入できます。
(専用材料以外の、あめ玉・砂糖などの使用は禁止します。)
 - ◆使用後のメンテナンスは不要です。(振興区で実施します)
 - ◆事前(一週間前まで)に申し込みを行ってください。
 - ◆本区の自治会を対象とし、“また貸し”を禁止いたします。
- ※ 詳細・申し込みは庄原自治振興区まで。電話 72-3777
行事自粛が続いておりますが、ご利用をお待ちしています。



お知らせ 6月初旬、新型コロナウイルスの感染防止対策にと、匿名による非接触体温計 10 台の寄贈がありました。本区では活用先として、庄原小学校・庄原中学校・永末小学校・永末保育所・庄原保育所・庄原幼稚園に、早速配布させて頂きましたところ、永末保育所からお礼を頂くなど、皆さんに大変喜んで頂きました。御寄贈いただいた方に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



技適マーク取得済み

8月の振興区主催行事予定



- | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|
| 11日(火) | 理事会・総務企画室会議 | 13:30~ |
| 18日(火) | 環境美化・防犯パトロール
(川手上・沖・中・下の各自治会長) | 9:00~ |
| 25日(火) | 役員会 | 13:30~ |
| 毎週1回 | 青少協防犯パトロール | 16:00~ |



編集後記

連日、「コロナ. コロナ」の話題が続いていますが、未だコロナ禍の終息は見通せていません。その影響により、ほとんどが中止になったスポーツ大会の中に、選抜高校野球大会や、多くの中・高生スポーツ大会があります。無念の思いで一度は諦めた大会に代わり、それぞれ独自の方法で、代替大会を開催しようという取り組みが各地で広がっており、それぞれが集大成を存分に発揮できるよう応援しています。首都圏を中心に、再び感染が増加していますが、本区でも秋に向けて行事を再開します、引き続き一人一人が感染防止・暑さ対策を講じながら、様々な活動に参加していただければと思います。